

# おおたの教育

第103号

大田区教育委員会広報

平成22年(2010年)  
4月1日発行

今号の主な内容

- 第1面 教育委員会の取り組み
- 第2面 教育予算のあらまし
- 第3面 学校生活調査  
教育実践功労者表彰
- 第4面 図書館の指定管理者の指定

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL. 03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

## 意欲を育み、意欲を支える おおたの教育をめざして

大田区教育委員会

「教育目標の実現をめざし、  
おおた教育振興プランの着実な実行を…」

委員長 野口 和矩

教育委員会では、大田区基本構想が掲げる将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」を実現するため、昨年6月に新たな教育目標を定め、その実施計画として今後5年間に進めるべき施策と指標を示した「おおた教育振興プラン」を策定しました。



第1回区議会定例会にて

教育委員会は、このプランに基づき、大田区の子どもの学び意欲を育み、意欲を支える教育施策を地域と連携を図りながら進めてまいります。

平成21年度には小・中学校3校において、学校支援地域本部がモデル的にスタートしました。学校支援地域本部は、地域とともに子どもを育てる体制づくりを進めるものです。さまざまな知識や技術をもつ方に「学校の応援団」として教育活動にかかわっていただくことで、子どもの経験や体験をする機会が増え、その幅が広がるとともに、規範意識やコミュニケーション能力の向上などの効果が期待されます。また、地域の方のもつ知識や経験を活かし、地域の人と人とのつながりを育む場として、地域力が高まっていくことを望んでおります。

平成22年度には、さらに実施校を拡大するとともに、将来的には、すべての小・中学校に学校支援地域本部を設置する方針であります。

このほか、児童・生徒の基礎的・基本的な学力の向上や健やかな身体と豊かな人間性を育む人間力の向上、そして、国際化の進展により増加する海外からの帰国者及び外国人の児童・生徒の日本語教育指導、不登校対策や特別支援教育など、子ども一人ひとりに向き合う教育施策の充実にも積極的に取り組んでまいります。

そして、これまで以上に、学校・家庭・地域との連携を深め、それぞれの役割をしっかりと果たせる環境の整備を進め、より良いおおたの教育の実現をめざしてまいります。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

(平成22年2月22日 第1回区議会定例会 委員長所信表明要旨)



学習支援コーディネーターが地域と学校を仲立ちした、総合的な学習の時間「昔遊び」  
(スクールサポートくがはら/久原小)

コミュニケーション能力としての国語力の向上

櫻井 光政 (委員長職務代理者)

職業柄、毎年100人以上の弁護士と面接をしていますが、総じて「書く力」「話す力」が低いのに驚かされます。これらの力は漢字の書き取りなどと違って進歩が数値化されにくいものではありませんが、どのような職業に就いても常に求められる能力です。

学校と家庭が連携して、子どもたちが教科の時間だけでなく、日常的に良い文章を読み、考えを書き表す機会を増やしたいと考えています。



早寝・早起き・朝ごはん

高山 美智子 (委員)

子どもの生きる力を育むためには、基礎・基本となる学力の定着が欠かせません。全国学力・学習状況調査結果では、学力と生活習慣に相関関係があることが明らかになっています。大田区においても「朝食を食べている」「前日に学校の準備をする」という習慣が身につけている子どもの正答率が高いという結果が出ています。

また、健康な心と体をつくるためにも、「早寝・早起き・朝ごはん」はとても重要です。基本的な生活習慣を身につけることが、いかに大切かを唱えていきたいと考えています。



子どもたちも、先生もますます元気に！！

横川 敏男 (委員)

昨年12月に教育委員に任命されました。

昭和59年から25年間、学校医という目で大田区の子どものたちを見守ってきました。子どもたちの「心と体」がますます元気になるように、学校で子ども一人ひとりと向き合う先生にも元気になってもらえるように、教育委員として、医師として、両方の立場をうまく融合させて頑張っていきたいと思っています。よろしく申し上げます。



魅力ある大田の教育をめざして

藤崎 雄三 (委員)

「引越すなら大田区だね。」

小・中学生をもつ保護者にこう言ってもらうには何が必要か。これが教育委員として、何に取り組むかを決める私の基軸になります。地域にとって学校はどうあるべきかの理想を追い求めること。教職員や児童・生徒の求めと保護者や地域の方々の知恵や力を結びつけること。これら学校を取り巻く「将来と今」について皆さんとともに考え、一つずつ実現させていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



子どもたちの意欲を育むには

清水 繁 (教育長)

わかるように教え、模範を示すことは教育の基本だと思っております。しかし、一番大切で難しいのは、子どもたちが学ぶ喜びを知り、自学自習できるように導くことではないでしょうか。子どもたちの向上心を刺激するには、まずは私たち大人自身に向上心があること。すなわち学ぶことを楽しみ、未知なることへの探究心をいつまでも失わずにいる姿を子どもたちに見せることだと思っております。



## 平成22年度 教育予算のあらまし

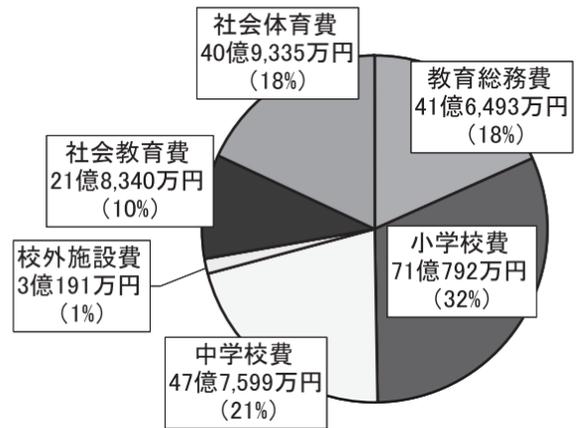
# 地域とともにつくるおおたの教育をめざして

教育委員会では、依然として低迷する厳しい経済状況を踏まえながら、平成21年6月に策定した新たな教育目標の実現をめざし、「おおた教育振興プラン」を着実に実行することを基本として予算編成に取り組みました。

教育目標を実現するためには、この予算をもとに区民の皆さんと教育委員会、そして学校が一緒になって意欲的に取り組むことが必要です。

今号では、おおた教育振興プランの『「意欲」を育み「意欲」を支える6つのアクションプラン』を実行するための取り組みと教育関係施設整備予算を中心として、平成22年度予算のあらましを紹介します。

平成22年度教育予算額  
226億2,750万円



## 学力向上アクションプラン

子どもの未来を支える確かな学力の定着を図るとともに、将来にわたり学び続ける意欲と問題解決能力を養うため、家庭や地域と連携を図りながら、児童・生徒一人ひとりの習熟度に合わせた指導を推進します。

**主な事業**

- ☆学習効果測定の実施 **3,140万8千円**  
学習効果測定(小4~中3を対象)を実施し、学習の習得状況を把握するとともに指導の充実を図ります。
- ☆基礎学力の定着 **1億1,718万9千円**  
学習の到達度に応じたステップ学習や学習指導講師などによる補習教室の実施、習熟度別少人数授業の充実により確実な学力の定着をめざします。
- ☆読書活動の推進 **5,691万7千円**  
学校図書館の蔵書の充実と小・中学校各1校をモデルに区立図書館から専門的知識を有する専門員を1年間派遣し、図書整備とボランティア育成などの支援を行います。
- ☆おもしろ理科教室 **1,106万5千円**



「電気の利用(LEDの働きと半導体)」萩中小学校

## 一人ひとりに向き合う教育 アクションプラン

児童・生徒一人ひとりの学習の状況や心の悩み・不安を把握し、保護者と情報を共有しながら必要な支援が行えるような仕組みづくりを進めます。

**主な事業**

- ☆学校生活調査の実施 **700万円**  
\*詳細は3面の記事をご参照ください。
- ☆日本語指導教室の充実 **2,824万3千円**
- ☆適応指導教室「つばさ」の増設 **211万円**  
不登校児童・生徒の学校への復帰に向けた学力の補充やコミュニケーション能力の育成を支援する適応指導教室「つばさ」を池上・蒲田に続き、羽田に開室します。

## 教員の指導力向上 アクションプラン

校内研究の充実や模範授業の公開などにより、教員が自己研鑽できる機会を増やすとともに、教員が本来の業務に専念し、子どもたちと向き合い、よりよい指導ができる環境体制の整備を進めます。

**主な事業**

- ☆教科領域研究奨励校 **1,023万4千円**
- ☆学校運営システムの開発 **9,557万円**  
学校と教育委員会事務局をネットワークで結び情報の共有化や校務支援システムの導入による教職員の事務の効率化を図ります。22年度はシステム開発と学校における準備工事を行います。

## 地域とともに歩む学校づくり アクションプラン

学校支援地域本部の設置を進め、学校支援コーディネーターを中心とした地域とともに学校を支援する体制づくりを進めます。

**主な事業**

- ☆学校支援地域本部の設置 **288万円**



学校支援地域本部では学校の求めること、地域のできることを、学校支援コーディネーターが中心となって調整しながら具体的な活動につなげていきます。  
(みその学校サポート本部/御園中)

## 地域力育成アクションプラン

地域力を高めるとともに、次の世代を育成するため、学びあいによる地域づくりを進めます。

**主な事業**

- ☆区民大学・地域講座など **431万8千円**
- ☆地域スポーツクラブ創設支援及びリーダー養成 **37万8千円**  
地域住民が主体となって運営し、地域で子どもから高齢者までが交流しながらスポーツを楽しむ地域スポーツクラブの創設、運営を支援します。
- ☆リーダー講習会(青少年、指導者対象) **614万3千円**

## 教育関係施設の整備

- ☆嶺町小学校の改築 **1億4,767万円**  
校舎の老朽化や児童数の増加に対応するため、校舎の改築計画を進めています。22年度は基本設計と実施設計などを行います。
- ☆伊豆高原学園の改築 **7,997万円**  
21年度に策定した基本計画に基づき、基本設計などを行います。改築にあたっては学園機能の充実と、学校未利用期間の区民利用に配慮した施設をめざします。
- ☆大田区総合体育館の建設 **23億2,253万円**  
23年度中の竣工をめざし、工事を進めています。今後は、総合体育館の開館に向けて、大田区のスポーツ振興のあり方などの検討を行います。



総合体育館改築工事の全景(22年2月現在)  
杭打工事及び仮設通路準備工事

- ☆(仮称)入新井図書館の開設準備 **1億2,342万円**  
23年3月の開館に向けて準備を進めます。

問合せ先 教育総務課庶務係

TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

## 人間力向上アクションプラン

子どもの成長段階に応じた達成感・自立性・規範意識・人間関係形成能力を育成し、健やかな身体と自己肯定感・自己決定力を育み、未来への希望に満ちた豊かな人間性が身につくよう支援します。

**主な事業**

- ☆体力向上のために **469万3千円**  
スポーツテストにより、児童・生徒の体力の現状を把握するとともに、「体力向上プログラム」に基づき、児童・生徒の体力向上に取り組みます。
- ☆食育の充実と生活習慣の確立のために **53万円**  
「早寝・早起き・朝ごはん月間」を年2回設け、地域・家庭と協力して児童・生徒の基本的な生活習慣の確立に努めるとともに、保護者へ食育に対する啓発を行います。
- ☆家庭・地域教育力支援事業 **277万円**

学校生活調査の実施について

# 安心して学校生活ができるように 子ども一人ひとりの心に向き合う

子どもたちは日々の学校生活の中で、さまざまな経験や体験を積み重ねながら成長しています。また集団生活において、困難な状況に出会い、悩み、苦勞し、自分自身で、あるいは周囲の人に支えられながら問題を解決していくことも子どもたちの成長にとって大切なことです。

しかし、時には自分自身では解決できない問題に直面し、誰にも相談できず、気づいてもらえず、一人で悩む日々が続いたことが原因の一つとなり、「学校に行きたくない、行けない」という状況になってしまうこともあります。

学校では、子どもの不安な気持ちや悩みにいち早く気づき、不登校などの問題行動へ進行させないために、担任を中心として子どもの微妙な変化やサインを見逃さないように普段の生活を見守っています。

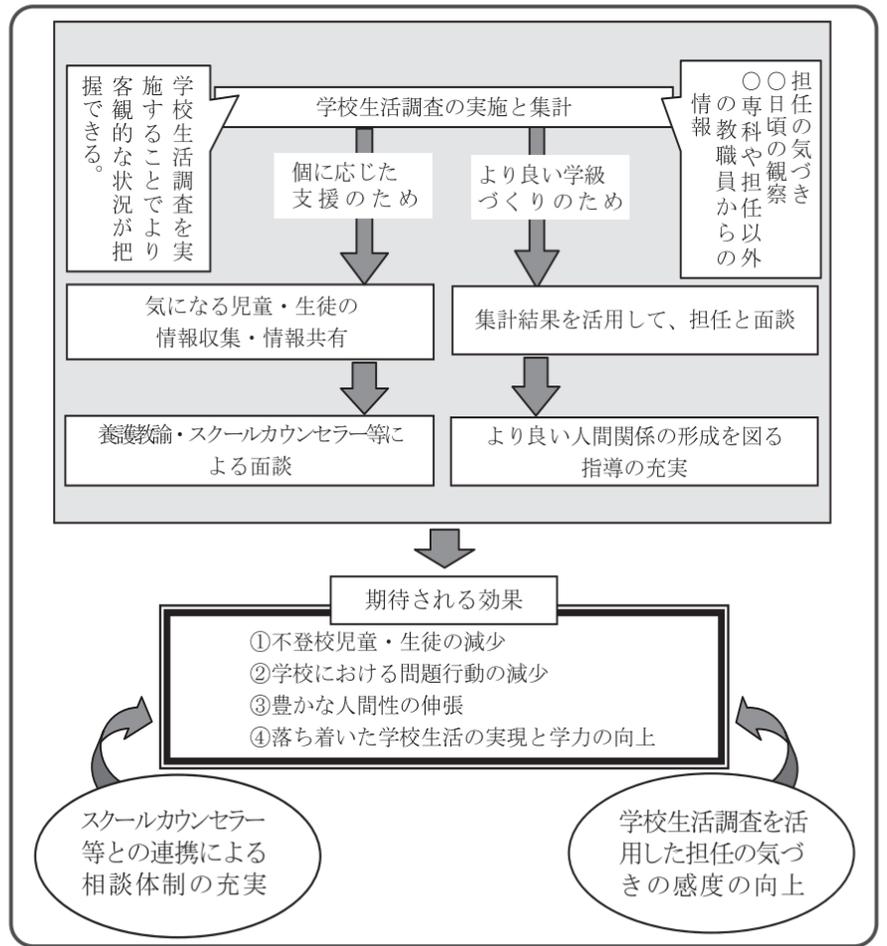
## 心の奥に隠れた不安や悩みのサインに気づく

子どもたちの心身の状態は、表情や言動などからだけでは感じ取れない場合もあります。

教育委員会では、子どもの心に潜在的にあるストレスを知り、速やかに解決のための手助けを行うため、平成21年度から学校生活調査（メンタルヘルスチェック）を実施しています。区立小・中学校に通う小学校4年生から中学校3年生全員を対象に、年2回（6月・11月）、心身の状態や友人関係、学習に対する意識などに関する調査を行い、子どもの不安や悩み、ストレスの状況を把握し、手助けが必要だと思われる場合は、面談を行った上で問題解決のために必要な支援へとつなげていきます。

学校生活調査は、子どもたちの心身の状態を客観的に知るための一つの方法です。子どもたちの抱える不安や悩みを解消するためには、教員と児童・生徒の信頼関係をしっかりと築くとともに、学校と家庭、そして地域が連携して、子どもたちを見守り、支えていくことが重要です。

### 【学校生活調査のイメージ図】



### 実施後の学校からは…

- 気づかなかった子どもの心情を知ることができ、子どもへの理解が深まった。
- 児童・生徒の実態がわかり、その後の対応ができた。
- 日常的に教員や友だちにも悩みを言わない子どもの心理状態がわかり話し合いができるようになった。
- 各担任が学級経営の在り方を振り返り、見直すことができた。
- 問題なく学校生活を過ごしているように見えても意外にストレスをためている子どもがいることがわかり、指導上の参考になった。

などの声が寄せられています。 **問合せ** 指導課指導主事 **TEL** 5744-1435 **FAX** 5744-1665



北村教諭 松井主任教諭 浅沼主任教諭 市川主任養護教諭 岡崎主幹教諭

### 平成21年度

## 大田区教育委員会「教育実践功労者」表彰

大田区教育委員会では、平成21年度より区立学校の主幹教諭・主任教諭・主任養護教諭・教諭・養護教諭を対象に、大田区の教育の発展に貢献し、その功績が顕著であり、優れた実践を行った教員を「教育実践功労者」として表彰する制度を創設しました。

今回は5人が受賞し、平成22年2月17日に清水教育長から一人ひとりに表彰状が手渡されました。

受賞された皆さんには、大田区の教育のために一層のご尽力をいただき、子どもたちの健やかな成長を支えていただきたいと思います。

**問合せ** 教育総務課庶務係 **TEL** 5744-1422 **FAX** 5744-1535

## 受賞者紹介

### 岡崎 奈緒子主幹教諭 (大森第四小学校・音楽)

吹奏楽クラブへの指導に熱心に取り組み、東京都吹奏楽コンクールで優秀な成績を収めるとともに、地域行事などへも積極的に参加し、学校と地域との連携に努められています。

### 浅沼 京子主任教諭 (馬込第三小学校)

生活指導主任として、若手教員の育成と学校全体の課題解決のために尽力するとともに、積極的なPTA・地域行事などへの参加を通して、児童・保護者・地域から多くの信頼を得られています。

### 松井 美鈴主任教諭 (赤松小学校)

区教育研究会国語部副部長及び授業改善リーダーとして、国語研究及び授業改善に取り組み、大きな成果を上げるとともに、後進の育成にも尽力されています。

### 北村 貴仁教諭 (東蒲中学校・保健体育)

生活指導の充実を図るため校内体制の整備に尽力するとともに、運動会などを通して仲間と一緒に目標を達成する喜びを実感させることで、生徒の意欲や自己肯定感の向上を図られています。

## 平成22年4月1日からの 区立図書館の指定管理者の指定について

大田図書館を除く区立図書館の指定管理者の指定期間(平成19~21年度)満了に伴い、下表の事業者を新たな指定管理者として指定しました。指定期間は、平成22年度から26年度までの5年間です。

問合先 大田図書館 TEL 3758-3471 FAX 3758-3625

(指定管理者一覧)

	図書館名	指定管理者名
1	大森南	テルウェル東日本株式会社
2	大森東	株式会社有隣堂
3	大森西	テルウェル東日本株式会社
4	馬込	株式会社図書館流通センター
5	池上	共同事業体 JCS/NBMグループ (日本コンベンションサービス株式会社・野村ビルマネジメント株式会社)
6	久が原	特定非営利活動法人 大田教育支援の会
7	洗足池	株式会社図書館流通センター
8	浜竹	特定非営利活動法人 大田教育支援の会
9	羽田	テルウェル東日本株式会社
10	六郷	株式会社ヴィアックス
11	下丸子	株式会社ヴィアックス
12	多摩川	株式会社図書館流通センター
13	蒲田	共同事業体 JCS/NBMグループ (日本コンベンションサービス株式会社・野村ビルマネジメント株式会社)
14	蒲田駅前	株式会社図書館流通センター

## 地域における子どもたちの安全を確保するために =学校緊急連絡システムにご登録ください=

学校緊急連絡システムは、区民安全・安心メールサービスと連携して、区立学校に通学しているお子さんをもつ保護者の携帯電話などに緊急な連絡事項を一斉にメール配信するシステムです。

配信内容 ①子どもの安全に係わる事件、事故、災害等の情報  
②運動会などの学校行事の実施・中止の情報 など

対象者 区立学校に在籍している児童・生徒の保護者

登録方法 4月に学校から配付される手順書に添って登録してください。手順書がお手元にない場合は、学校に請求してください。

登録変更・削除

3月にお子さんが小・中学校を卒業した方の登録は教育委員会で一括削除しますが、転居により学校が変わった場合は変更や削除の手続きが必要となります。変更・削除の手順書は各学校に準備してあります。

なお、お子さんが中学校に進学された場合は、新たに登録が必要です。

問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

## 給食費や学用品購入費の一部を援助します (就学援助費)

対象 区内在住で小・中学校に通学しているお子さんをもつ保護者で、次のいずれかに該当する方  
①生活保護を受けている方  
②前年の世帯全員の合計所得がおおむね下表の金額未満の方

世帯人数	2人	3人	4人	5人
所得額	277万円	345万円	378万円	465万円

\*所得額はあくまでも目安です。世帯の年齢構成等によって金額は異なります。

申請方法 4月上旬に学校から「就学援助費受給希望調査書(申請書)」が配付されます。必要事項を記入して期日までに学校へ提出してください。なお、大田区外の学校に通学している場合は、学務課学事係まで、お問合せください。

問合先 学務課学事係 TEL 5744-1429 FAX 5744-1536

## 中学校3年生の学習塾などの受講料(上限20万円) 高校受験料(上限5万400円)を 無利子でお貸しします (チャレンジ支援貸付事業)

対象 中学3年生の子をもつ、都内に引き続き1年以上在住(住民登録)の世帯の生計中心者で、次のすべてに該当する方  
①預貯金等の資産が600万円以下の方  
②居住用以外の不動産を所有していない方  
③生活保護受給世帯ではない方(下記※印参照)  
④生計中心者の課税所得が60万円以下または前年の総収入が表の金額以下の方

扶養人数	1人	2人	3人	4人
総収入額	260万円	320万円	380万円	440万円

\*賃貸住宅に住んでいる場合は、年額84万円(月額7万円)を限度に収入から減額できます。

貸付条件 連帯保証人が一人必要です。その他詳細はお問合せください。

貸付対象 ①学習塾・各種受験対策講座・通信講座等の受講費用  
②高校受験費用(4校分。1校あたり上限2万3千円)

その他 高校に入学した場合は、手続きにより返済が免除されます。

問合先 大田区社会福祉協議会 TEL 3736-2021 FAX 3736-2030

\*生活保護受給世帯にも、学習塾等の費用を支給する制度があります。詳しくは各生活福祉課のケースワーカーにご相談ください。



### 表彰

- 文化
  - ・第59回全国小・中学校・PTA新聞コンクール 毎日小学生新聞賞(小学校・学習新聞の部)
  - 南六郷小学校「南六郷の匠新聞」
  - ・現代学生百人一首 入選 東蒲中2年 渡邊 夏海
- スポーツ
  - ・第37回マーチングバンド・バトントワーリング全国大会 銀賞(小学校の部)
  - 嶺町バトンクラブキューティーズ(中学校の部)
  - チェリーバトンクラブ
  - 雪谷バトンクラブジュニアチーム

### 教育委員会の主な議題

平成21年12月22日付けで、下記の者が教育委員会委員に就任しましたのでお知らせします。なお、同日付けで施行された「大田区教育委員会組織条例」により、委員の構成は5名から6名に増員されました。  
横川 敏 男 委員(新任)  
藤崎 雄 三 委員(新任)  
清水 繁 委員(再任)

### 教育長の任命について

平成21年12月22日付けで、教育長に清水 繁委員が再任しましたのでお知らせします。

### 教育委員会の主な議題

- 平成21年第12回定例会
  - ・教育長の任命について
  - ・「大田区積立金条例の一部を改正する条例」原案の提出について
  - ・区立図書館の指定管理者の指定について 外1件
- 平成22年第1回定例会
  - ・平成22年度教育に関する予算要求原案について
  - ・大田区総合体育館条例原案の提出について 外2件
- 平成22年第2回定例会
  - ・大田区教育委員会非常勤職員に関する規則の一部を改正する規則 外1件

### 教育委員会定例会の開催予定日

- 日時 平成22年4月28日(水)
  - 平成22年5月26日(水)
  - 平成22年6月24日(木)
  - 時間 午後2時から
  - 場所 本庁舎6階教育委員会室
- \*予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記までご確認ください。

問合先 教育総務課庶務係

TEL 5744-1422

FAX 5744-1535